

備前市事務事業評価シート

(平成22年度事業)

事業の概要			
事業開始年度	S62~		
総合計画	大項目	基本目標	01 安全で快適に暮らせるまちづくり
	中項目	基本施策	10 生活しやすいまちづくり
	小項目	施策	10 下水道
	事務事業名	05 公共下水道施設管理事業	
根拠法令・例規等		下水道法、水質汚濁防止法	
問		担当課(室)	下水道課
合		職・氏名	参事・高井利広
先		電話	0869-63-2330
		このシート作成に要した時間	4.0 時間

事業の意図する成果とつながる成果指標を設定

事業の目的	
対象(誰・何に対して)	下水道使用者及び不特定多数
目的(何のために)	公共用水域の保全のために、流入下水を浄化し放流する。
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	処理場施設の適正な維持管理に努め下水を処理することにより、公共用水域の水質保全および生活環境の改善を図る。

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性を評価

事業の実績			
細事業名	事業の説明	優先度	
目的を達成するために実施した事業	汚水処理を目的に設置した4箇所の浄化センターの運転管理、水質分析、データ管理	◎	
	汚水送水を目的に設置した4箇所の中継ポンプ場の運転管理	○	
	雨水排水を目的に設置した2箇所の雨水ポンプ場の運転管理	○	
	汚水送水を目的に設置したマンホールポンプの運転管理	○	
	事業場から排水される汚水の水質調査及び指導	△	
管渠の維持管理	下水道管渠等の健全な管理のため管渠やマンホールポンプの点検・清掃を行い、また通行の保全ためマンホール周辺の路面修繕を行う。	○	

事業費や受益者負担比率、単位当たりコストに留意しながら効率性を評価

事業の成果						
成果指標名	年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度目標値	
		目標値(A)	15.0	15.0	15.0	15.0
		実績値(B)	9.0	8.2	8.3	到達目標値
COD値	達成率(B/A)	60.00%	54.67%	55.33%	15mg/L	

化学的酸素要求量。水中の有機物を酸化剤(薬品)によって酸化するのに消費される酸素量。大きいほど汚れが基だしいことを示す。

事務事業の評価		5段階評価(A~E)のランク基準 A:高い B:やや高い C:普通 D:やや低い E:低い
妥当性の評価	市の関与の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている <input type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない <input type="checkbox"/> 事業の内容が一部の受益者に偏っている <input type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input checked="" type="checkbox"/> 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある <input type="checkbox"/> 市民・団体等から要望・要請が強い
	市民ニーズ	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> 実施方法(派遣・委託)を見直すことでコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である <input type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある <input checked="" type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある <input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている
効率性の評価	コスト	<input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の到達目標値は達成できそうである <input checked="" type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている <input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない <input type="checkbox"/> 法定事務・内部管理事務であり成果は求めにくい <input type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している
	目的達成度	<input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない <input type="checkbox"/> 法定事務・内部管理事務であり成果は求めにくい <input type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している
有効性の評価	市民参画度	<input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない <input type="checkbox"/> 法定事務・内部管理事務であり成果は求めにくい <input type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している
	市民参画度	<input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない <input type="checkbox"/> 法定事務・内部管理事務であり成果は求めにくい <input type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している

事業の目的やその数値目標がある成果指標に留意しながら評価

進行年度(H23年度)の改革改善内容						
状況	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止・完了
		○				
説明	維持管理業務は継続して実施していくが、老朽化が進んでいる施設が存在するため、整備計画等を策定し効率的な点検整備を実施により機能を維持する。					

事業費等		単位	平成20年度実績	平成21年度実績	平成22年度実績
決算額	直接事業費		399,674	367,023	350,152
	必要人員(人件費)	千円	4.05人 34,928	3.43人 30,951	2.96人 21,532
	事業費計		434,602	397,974	371,684
	国県支出金				
	受益者負担				
	繰入金債	千円			
その他( )					
一般財源					
受益者負担比率	%				
結果指標名	単位	平成20年度実績	平成21年度実績	平成22年度実績	
汚水処理量	説明	汚水を浄化し公共水域へ放流した水量			
結果指標	結果指標量	m	3,608,812	3,438,113	3,704,348
	対前年比	%	-	95.3%	107.7%
	活動コスト		434,601,754	397,973,842	371,683,864
	単位当たりコスト	円	120	116	100

総合評価		5段階評価(A~E)のランク基準 A:高い B:やや高い C:普通 D:やや低い E:低い
処理コストを抑えるよう努力しつつ、処理場機能を最大限に発揮できるよう運転管理を行う。	評価区分<A~E>	C

平成24年度の方向性・取組目標						
方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止・完了
		○				
取組目標	各処理場の主要機器について、整備計画を策定し実施するとともに、空室・りんの放流水質浄化を進める。					